

# 多様なセクシュアリティ(性)

セクシュアリティ(性)の有り様について次の4つを通じて考えてみましょう。

## 1 身体の性

身体的な特徴や性染色体、生殖腺などによって客観的に判断される性別です。外性器の違いで判断される場合が多いですが、精巣や卵巣の有無、染色体の組み合わせなど、からだの性の違いは、目に見えるものだけではありません。

## 2 性自認(心の性)

自分自身が自分の性をどう捉えているかということです。男性(女性)の身体を持って生まれた人の圧倒的多数が自分のことを男性(女性)と認識しています。しかし、心の性と身体の性が一致せず自分自身の身体に違和感を持っている人や男性でも女性でもないと感じている人もいます。

## 3 性的指向(好きになる性)

恋愛感情が主にどの性別に向いているかということであり、男性を好きか、女性を好きか、男女両方好きか、あるいは誰に対しても恋愛感情は抱かないといったことです。

## 4 性別表現(表現する性)

言葉づかいやファッションなどの装いを自分自身がどのように表現したいか、ということです。男らしさ、女らしさは、時代や文化と共に変化します。性自認と性別表現が一致するとともに限りませんし、特定の性的指向を持つ人が特定の性別表現をするとも限りません。

世の中には、男と女の2種類しかない。異性を愛することが当たり前

## 本当にそうですか？

これまで性別は、「男」と「女」のどちらかに分けられ、異性を好きになることが当たり前だと考えられてきましたが、「身体の性」「性自認(心の性)」「性的指向(好きになる性)」「性別表現(表現する性)」は人によって違っています。例えば「身体の性」が男性で「心の性」が女性ということもあり、その逆の場合もあります。「好きになる性」は必ずしも異性ではありません。セクシュアリティの有り様は実に様々なのです。

# カミングアウトされたら…カミングアウトアウト率 親へ22.0%、職場や学校で27.6%※2

日々顔を合わせている人の中に性的(セクシュアル)マイノリティは存在しています。普段の生活の場で毎日、当事者の児童生徒や同僚と顔を合わせていても、そうとは知らずに会話を交わしている場合が大半です。

カミングアウトをするのはとても勇気がいることなのです。相手はあなたを信じて話してくれていますから、次の事柄に注意しましょう。

・最後まで話を聞く。そして、話してくれたことに対し、「話してくれて、ありがとう」を伝える。

・「どうして伝えてくれたのか」「どんなことに困っているのか」を心に寄り添いながらしっかり聞く。

・「だれに話しているのか」「だれに話してもいいのか」を確認する。

※本人の了解を得ずに、他の人に知らせることは、「アウトティング」という相手を傷つける行為に当たります。

## LGBTの子どもたちがこんなことで困っています

例えば

- ◆ 誰にも自分の悩みを相談できない
- ◆ 理解のある先生がない
- ◆ 「ホモ」「オカマ」「レズ」という言葉に傷ついている
- ◆ 無視や仲間はずれなどいじめに合う
- ◆ 周りから偏見の目で見られる
- ◆ 自分が思っている性別のトイレに入られない、など...

教員自身が性的指向と性自認を混同することがないように正しく適切に認識し、対応しなければなりません。性別の違和感を持つトランスジェンダーの児童生徒の一部に、制服やトイレ使用に配慮が必要な場合があります。トランスジェンダーの児童生徒は目につきやすいですが、実際にはその10倍程度レズビアン・ゲイ・バイセクシュアルの児童生徒が教室にいることが推定されます。そのため、性別違和を抱えるトランスジェンダーに主に関わる性自認だけに偏重した取組をするのではなく、性的指向についてもバランス良く学校で取組をすることが求められます。

### T トランスジェンダー<FTM>



「中学校に入学する前に制服のスカートが届いて、目の前が真っ暗になった。はさみで切ればズボンで登校できるかと真剣に考えた。親は似合うとかほめたけど、死ぬほどいやだった。」

### L レズビアン



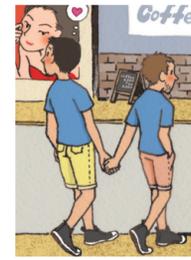
「小5の時、女の先輩が大好きでした。先輩が近づくと、うれしいけれど、恥ずかしくて、顔が見れませんでした。あれがわたしの初恋でした」

### G ゲイ



「中学の部活の顧問が、がっちりした体つきでかっこよかった。叱られたくて、わざといたづらをした。「こら」と頭をぐつとされると、胸がドキドキした」

### B バイセクシュアル



「大学では男性と付き合い始めたが、高校生の時は女の子と付き合った。どっちも本気だった。男とか女とかで好きになる人を決められない」

# 学齢期の困難

2016年に日本全国の性的(セクシュアル)マイノリティを対象に実施された調査によれば(有効回答数15,064人)いじめ被害経験率は58.2%、不登校経験率は21.1%※2でした。また、ゲイ・バイセクシュアル男性のうち自殺を考えた経験がある者は66%、実際に自殺未遂の経験は14%におよんでいることがわかっています(国内在住ゲイ・バイセクシュアル男性5,731人)※3。別の調査では、異性愛男性に比較してゲイ・バイセクシュアル男性は約6倍自殺未遂リスクが高いことも明らかになっています(2,095人の若者男女を対象にした街頭調査)※4。また、ゲイ・バイセクシュアル男性の思春期・青年期に集中して発生する出来事を平均年齢で示したものが右図

です。中学校・高校の学齢期に性的指向に関連する出来事が発生していることがわかります。

## ◆思春期の出来事の平均年齢 (ゲイ・バイセクシュアル男性1,025人対象)



## LGBTとどう向き合い、どう取り組むか、先生の決断の時です

学校現場にLGBTをはじめとする性的(セクシュアル)マイノリティの児童生徒が存在することを薄々は気付いておられるのではないのでしょうか。「うちの学校・学級にはいない」ではなく、各クラスに1人は少なくともいることが推定されています。「いない」のではなく「いるであろうけれども、言い出せないでいる」ことに先生の理解と配慮が必要です。また、教員自らが、「ホモ・おかま・オネエ」といった言葉を用いて笑いを取ろうとしたり、ネタとして扱い、からかいの先陣を切ってしまうことはないでしょうか。人権教育として、どのように児童生徒に伝えていくか、教員自身がどう向き合っていくか、それが今、問われています。

### こんな先生だったら相談できそう

- ・話しくさを理解したうえで、ていねいに話をきいてくれる先生
- ・LGBTをからかう発言や差別する発言をしない先生
- ・LGBTをからかう発言や差別する発言を許さない先生
- ・LGBTについて理解していることを発信してくれる先生  
図書室や保健室等にLGBTに関する本が置いてある、ポスターやレインボーマークを貼っている、など
- ・味方になってくれる先生

※2 <http://www.gay-report.jp/2016/> ※3 <http://www.j-msm.com/report/report02/index.html> ※4 <http://www.health-issue.jp/suicide/index.html>